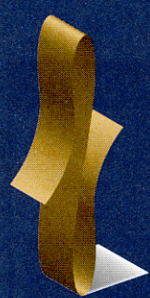


1997 February

2



福岡市総合図書館 映像ライブラリー NEWS

特別企画

※ 佐藤忠男アジア映画連続講座

特集

※ アルフレッド・ヒッチコック特集
（フリー・タイムズ ヒッチコック）

※ アラヴィンダン監督特集

※ 手塚アニメと東映動画特集

2月9日(日)

2月5日(水)～2月8日(土)

2月12日(水)～2月16日(日)

2月19日(水)～2月23日(日)



バルカン超特急



サーカス

No. 8

特集

アルフレッド・ヒッチコック特集 ～アーリー・タイムズ ヒッチコック～

サスペンス映画の巨匠ヒッチコック。生涯、多くのサスペンス映画を作り続け、独特のユーモアと皮肉、映画の中に必ず顔を出すことなどでも有名なこの巨匠のイギリス時代の傑作3本と名作「サイコ」を上映。

会 期：2月5日(水)～8日(土)

観覧料：500円(大人)

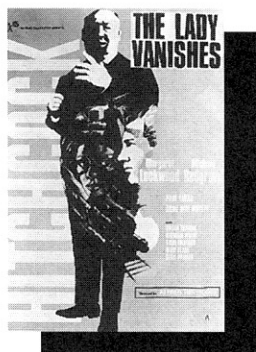
400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



バルカン超特急ポスター

2月5日(水) 14:00/19:00

三十九夜

1935年製作・公開/モノクロ 88分/イギリス
出演：ロバート・ドローネット/マデリン・キャロル

ヒッチコックの転機となった、彼の最初の傑作。平凡な主人公がある日、スパイ殺しの嫌疑をかけられる。自らの嫌疑を晴らし、国家機密がどこかの敵国に渡るのを阻止しなくてはならない。そのため彼は「三十九階段」なるスパイ組織の正体を探り出す。



2月6日(木) 14:00/19:00

間諜最後の日

1935年製作/1936年公開/モノクロ 83分/イギリス
原作：サマセット・モーム
出演：ジョン・ギールグッド/マデリン・キャロル/ピーター・ローレ

「三十九夜」に引き続き、ヒッチコックが手掛けたスパイもの。第一次世界大戦の最中、主人公はドイツ側のスパイを暗殺の任務を帯びて、偽名を使いスイスへ向かう。そこには擬装用の偽の妻があり、二人はドイツのスパイを捜し出すため活動を開始するが。



2月7日(金) 14:00/19:00

バルカン超特急

1937年製作/1938年公開/モノクロ 95分/イギリス
原作：エセル・リナ・ホワイト
出演：マーガレット・ロックウッド/マイケル・レッドグレーブ

ロンドンに向かう列車の中、主人公の女性と同乗していたはずの老婦人が突然消え、別の人物に変わっていた。しかし他の乗客達は老婦人のことなど知らぬといい、空想の産物とさえ言われてしまう。ヒッチコックのハリウッド進出を決定づけた一本。



2月8日(土) 11:00/15:00

サイコ

1960年製作・公開/モノクロ 108分/アメリカ
出演：アンソニー・パーキンス/ジャネット・リー

ヒッチコックの映画の中でもっとも怖い映画、その後のショッキング・ホラー映画を変えた名作。うら寂しいモーターで起こる連続殺人。有名なシャワー室での刺殺シーンを始め、豪雨の中そびえ立つモーターなど、その後のホラー映画に多くの影響を与えた。



特集

アラヴィンダン 監督特集

南インドの豊かな自然と伝統が生んだ映画監督G・アラヴィンダンはインドだけでなく、世界の映画史の中で特筆されるべき映画作家である。アジアの心とユーモアを内包する雄大なアラヴィンダンの作品を特集。

会 期：2月12日(水)～16日(日)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

2月12日(水) 14:00/19:00

黄金のシーター

1977年/カラー 87分/インド
監督：G・アラヴィンダン
出演：ラームダース/ヴィンカテシュワラル

インドの古代叙事詩「ラーマヤナ」の後日譚である。貞操を疑われて自殺した高潔な王妃シーターは、風となつて夫のラーマ王子と子たちを守る。神話の世界が森の中に再現する。自然が感情を持った精霊として、映画の中で重要な役割を果たしている。

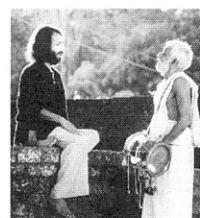


2月13日(木) 14:00/19:00

サーカス

1978年/モノクロ 129分/インド
監督：G・アラヴィンダン
出演：ゴービ/ヴェヌ

村にサーカスがやってくる。子供達の驚異の眼に見守られて芸人達も盛り上がる。しかし翌日子供達がみたものは、前日の芸人と同じ人物とは思えないほどげっそりと疲れて、海辺でぼんやりと休んでいる姿だった。かぎりなくやさしい眼で見た南インドの牧歌的な風土。



2月14日(金) 14:00/19:00

エスタッパン

1980年/カラー 93分/インド
監督：G・アラヴィンダン
出演：ラージャン・カッカナードン/フランシス・デーヴィッド

エスタッパンという名前のひとりのキリスト教徒の話。人によると彼はお人好しであり、バカみたいな男である。彼は聖人のように清い心を持ち、神様のように奇跡を起こすこともできる。しかしやっぱりのろまなデクノボーにしか見えないという、聖なる患者の寓話である。

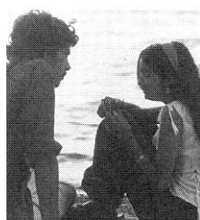


2月15日(土) 11:00/15:00

黄昏

1981年/カラー 108分/インド
監督：G・アラヴィンダン
出演：バーラチャンドラン/カルパナ

感受性の鋭すぎる一人の純粋な青年の物語である。彼はどう生きるか方向をつかめない状態にあり、友だちも次々と彼から去っていく。果てしなく落ち込んでいく青年の内面世界をあくまでも細やかに描く。あまりに美しく、あまりにももろい心の悲歌である。

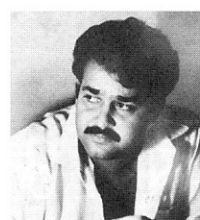


2月16日(日) 11:00/15:00

追われた人々

1990年/カラー 102分/インド
監督：G・アラヴィンダン
出演：モーハンラール/ニランシュナー・ミトラ

主人公のヴェヌはカルカットで役人として働いている。彼の仕事は東ベンガルから難民をアンダマン諸島に入植させることで、毎日多くの難民に面接して、適格者を認定している。この映画には難民や政治的迫害者など、インドに限らず世界的な規模で発生している「追われた人々」への共感と同情が溢れている。



特別企画 佐藤忠男アジア映画連続講座

～インド・東南アジアの映画について～

アジア映画評論の第一人者・佐藤忠男によるアジア映画史。アジア各国の民族・歴史・文化と映画との係わりを語る連続講座第2回。



講師 佐藤忠男
(映画評論家)

会 期：2月9日(日)

観覧料：無 料

開演時間：13:30～

参加方法：ハガキ、FAX、電話で前日までに氏名、電話番号を添えて福岡市総合図書館映像資料課までお申し込み下さい。

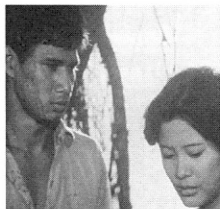
※映画上映は講演終了後におこないます。

参考上映 15:10～

傷あと

1977年/カラー 130分/タイ
監督：チュート・ソンスィー

タイを代表する巨匠チュート・ソンスィー監督の70年代の代表作。バンコクの郊外の農村を舞台に、ロミオとジュリエットにも似たラブロマンスが展開される。81年ナント三大陸映画祭グランプリ。



次回
予告

第3回 3月9日(日)

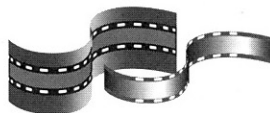
13:30～

演 題：「韓国映画について」

講 師：佐藤忠男(映画評論家)

参考上映：「開 闢」 監督 林権澤

1991年/カラー 135分/韓国



特 集

手塚アニメと東映動画特集

日本戦後アニメの歴史の中で、もっとも大きな足跡を残した手塚治虫と、劇場用長編動画の先鞭を切り、宮崎駿や高畑勲など現在日本を代表するアニメーション作家を育てた東映動画の傑作集。

会 期：2月19日(水)～23日(日)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)



※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

2月19日(水) 14:00/19:00

プログラム1 東映動画初期の短編映画集 <58分>

1956年設立された東映動画は、日本動画映画を吸収、動画部門のメインスタッフとした。旧日本動画映画スタッフの東映動画における第一作「こねこのらくがき」を始め、少女画や叙情画を得意としたイラストレーター、落谷虹児の「夢見童子」他、東映動画初期の傑作短編4本を上映。

- ▶「こねこのらくがき」 敷下泰次
1957年/東映教育映画部/モノクロ 13分
- ▶「夢見童子」 落谷虹児
1958年/東映教育映画部/カラー 16分
- ▶「こねこのスタジオ」 森やすじ
1959年/東映動画/カラー 16分
- ▶「ネズミのよめいり」 白川大作
1961年/東映動画/モノクロ 13分

2月20日(木) 14:00/19:00

プログラム2 手塚アニメ1 <54分>

手塚治虫はウォルト・ディズニーに憧れ、漫画家として成功してから生涯アニメーションへの夢を持ち続けた。このプログラムではディズニーの「ファンタジア」を意識してムソルグスキーの同名の曲にアニメを組み合わせた「展覧会の絵」、海外の実験アニメのフェスティバルで高い評価を受けた「JUMPING」、サイレント映画の郷愁とアニメならではの遊びが楽しい「おんぼろフィルム」の三本。

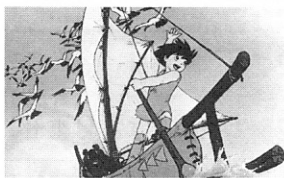
- ▶「JUMPING」 手塚治虫
1984年/手塚プロダクション
35ミリ/10分
- ▶「おんぼろフィルム」 手塚治虫
1985年/手塚プロダクション
35ミリ/10分
- ▶「展覧会の絵」 手塚治虫
1966年/虫プロダクション
35ミリ/34分

2月21日(金) 14:00/19:00

プログラム3 東映動画の長編作品1 <82分>

現在、日本アニメ界を代表する作家、「おもいでぼろ」の高畑勲、「風の谷のナウシカ」の宮崎駿、TV版「ルパン三世」の大塚康夫らがメインとなって作り上げた東映動画の傑作。「太陽の剣」を持つ少年・ホルスと悪魔・グルンワルドとの対決をメインに人々の友情と団結を描く。

- ▶「太陽の王子・ホルスの冒険」 演出 高畑勲
1968年/東映動画/35ミリ/82分



2月22日(土) 11:00/15:00

プログラム4 手塚アニメ2 <68分>

手塚治虫がアニメ進出に際して作った自社プロダクション「虫プロダクション」の第一作「ある街角の物語」。そして未完成のまま遺作となった「森の伝説」。どちらもアニメ作家としての手塚のアニメに対する情熱と才能を感じさせられる。「ある街角の物語」は詩情とヒューマンズムに溢れた中編。「森の伝説」はディズニーに捧げ、手塚アニメの集大成を意図して作られた。

- ▶「ある街角の物語」 手塚治虫
1962年/虫プロダクション
35ミリ/39分
- ▶「森の伝説」 手塚治虫
1987年/手塚プロダクション
35ミリ/29分

2月23日(日) 11:00/15:00

プログラム5 東映動画の長編作品2 <80分>

仏童話作家シャルル・ペローの童話のアニメ化。脚本に作家の井上ひさしが参加、原画に大塚康夫、宮崎駿も参加し、東映動画のマスコットでもあった猫が大暴れする。親子で楽しめる東映動画の代表作。モスクワ映画祭美術家同盟賞、同映画祭児童映画部門「もっともおもしろい映画」賞受賞。

- ▶「長靴をはいた猫」 矢吹公郎
1969年/東映動画/35ミリ/80分



映像ホールスケジュール

月	日	曜	内 容	
2	1	土	温故知新 自主制作映画上映会	
	2	日	「天井桟敷の人々」上映会	
	3	月	休館日	
	4	火	上映はありません	
5	水	アルフレッド・ヒッチコック 特集	14:00 三十九夜	19:00 三十九夜
6	木		14:00 間諜最後の日	19:00 間諜最後の日
7	金		14:00 バルカン超特急	19:00 バルカン超特急
8	土		11:00 サイコ	15:00 サイコ
9	日		13:30 佐藤忠男アジア映画連続講座 「インド・東南アジアの映画について」	
10	月		休館日	
11	火	祝	上映はありません	
12	水	アラヴィン・ダン 監督 特集	14:00 黄金のシーター	19:00 黄金のシーター
13	木		14:00 サークス	19:00 サークス
14	金		14:00 エスタッパン	19:00 エスタッパン
15	土		11:00 黄昏	15:00 黄昏
16	日		11:00 追われた人々	15:00 追われた人々
17	月		休館日	
18	火		上映はありません	
19	水	手塚アニメと 東映動画特集	14:00 ・こねこのらくがき・夢見童子 ・こねこのスタジオ ・ネズミのよめいり	19:00 ・こねこのらくがき・夢見童子 ・こねこのスタジオ ・ネズミのよめいり
20	木		14:00 ・JUMPING ・おんぼろフィルム ・展覧会の絵	19:00 ・JUMPING ・おんぼろフィルム ・展覧会の絵
21	金		14:00 太陽の王子・ホルスの冒険	19:00 太陽の王子・ホルスの冒険
22	土		11:00 ・ある街角の物語 ・森の伝説	15:00 ・ある街角の物語 ・森の伝説
23	日		11:00 長靴をはいた猫	15:00 長靴をはいた猫
24	月		休館日	
25	火		上映はありません	
26	水		九州デザイナー学院 卒業制作上映会 ～3/1まで	
27	木			
28	金		月末休館日	

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますのでご了承下さい。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

福岡市総合図書館映像ホール

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

各団体の自主上映事業

2月1日(土) 温故知新自主制作映画上映会

主催：温故知新 TEL (093)601-0441

2月2日(日) 「天井桟敷の人々」上映会

主催：福岡映画サークル協議会 TEL (092)781-2817

2月26日(水)～3月1日(土) 九州デザイナー学院卒業制作上映会

主催：九州デザイナー学院 TEL (092)474-9234

上映時間・内容等につきましては直接主催者にお問い合わせ下さい。

佐藤忠男アジア映画連続講座

予 告

第3回 平成9年3月9日(日) 13:30～

演 題：「韓国映画について」

講 師：佐藤忠男(映画評論家)

参考上映：「開闢」1991年/カラー 135分/韓国 監督：林権澤

観 覧 料：無料

参加方法：ハガキ、電話、FAXで氏名、電話番号、参加希望日を添えて福岡市総合図書館映像資料課へ、講座の前日までに申し込んで下さい。

映像ライブラリーNEWS送付のご案内

ただ今ご覧の「映像ライブラリーNEWS」及び映像ホール等で今後行われる各種イベントの情報を4月号より毎月(来年度3月号まで)無料で郵送いたします。(ただし要切手代)ご希望の方は希望の郵送開始月及び住所・氏名を明記の上、郵送手数料(90円×'98年3月までの月数：例 4月号からでしたら90円×12ヶ月=1,080円)分の切手を同封して、下記の宛先まで送付してください。希望月より'98年3月まで毎月郵送いたします。

宛先：〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。

詳しくはTEL(092)852-0600 福岡市総合図書館映像資料課まで

映像ホール利用申し込みについて

平成9年4月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期 間

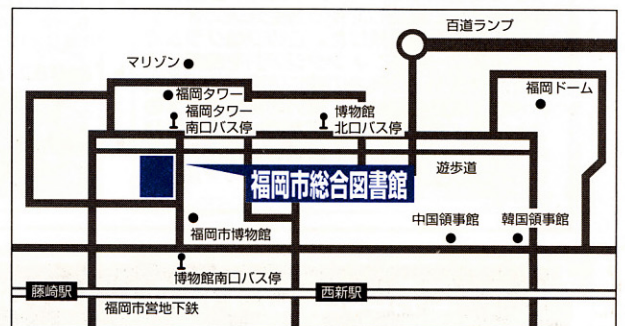
平成9年

4月25日(金)～4月27日(日)

5月28日(水)～6月1日(日)ただし5月31日(土)は月末休館日

6月25日(水)～6月29日(日)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課 TEL(092)852-0600までお問い合わせください。



交通機関

地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分

西鉄バス博物館南口および福岡タワー南口バス停留所より1分

都市高速百道ランプより車で2分

●お問い合わせは

☎ (092) 852-0600

FAX (092) 852-0609